

子どもの
未来のために



●原水爆禁止世界大会・長崎

今年には原水爆禁止世界大会・長崎に参加しました。戦争体験者や被爆体験者も少なくなっています。日本は唯一の被爆国であり、原発事故の被曝も経験した国です。世界から核兵器を廃絶させるために、もっと先頭に立つて頑張るべきだと思っています。実際に被爆体験者からお話を聞き貴重な経験をしました。

戦後70年の年

戦争法廃止・平和へ
力を合わせていきましょう。

今年、戦争法の強行採決をめぐって、国民の幅広い運動が広がりました。デモも集会もたくさん取り組まれ、私も参加しました。「だれの子どももこころさせない」(ママの会)、「民主主義ってなんだ!」(これだ!) (学生・シールズ)、「殺すな、殺させるな」(アベ政治を許さない)といういろんな言葉も生まれました。そして、強行採決後も運動は続いているのが素晴らしいです。日本共産党から「国民連合政府をつくり、戦争法を廃止させよう」という提案をしています。ですが、歓迎の声が多く寄せられています。実現に向けて頑張ります! (一般新聞やテレビの報道が減っているのは残念ですが…)

安保法制(戦争法)の強行採決は許さない



●円山集会



●レッドアクション

今年の8月、福島県南相馬市の牛超仮設住宅の夏祭りのお手伝いをさせて頂きました。事故から5年目になるのに、いまだに仮設なんて問題です。除染された土などもシートがかぶせられて、一時仮置きに置かれたままでした。政府の対応の遅さは、ひどいです。京都からも連帯して、一日も早く平穏な暮らしを取り戻せるよう取り組みましょう!

4度目の福島ボランティア



●福島夏祭りうどん



●除染された土



日本共産党 京都市会議員
玉本なるみ

URL <http://tamamoto-narumi.jp/> sweetpea@tamamoto-narumi.jp

アンテナ
「全員
中学校給食を
実現したい!」



●全員給食をおこなっている福岡市の中学校給食

京都市内の中学校で統廃合により小中一貫校となった学校は、中学生も全員が自校方式の温かい給食を食べています。しかし、ほとんどの中学校は家からの弁当か、選択制の委託会社からの給食になっています。教育委員会は「基本は愛情弁当。持っていくられない方のために選択制の給食をつくった」と説明します。しかし、現実には、家からの弁当はなし、選択給食も注文せず、コンビニ弁当や菓子パンなどで済ませている生徒もいます。全員が同じものを食べるという「全員給食の実現を求める請願」が京都市議会に何度も出されていますが、採択されていません。福岡市の中学校はセンター方式で、給食センターで大量に調理され、各中学校に配送される方式です。自校方式でないのは残念ですが、全員が同じものを食べるということは大事だと思います。